

平成24年度第3回指定管理者選定評価委員会会議概要

- 1 対象施設 青森市浪岡体育館及び浪岡総合公園
- 2 開催日時 平成24年10月5日(金) 13:00~15:15
- 3 開催場所 青森市役所第3庁舎1階会議室
- 4 出席者
 - (1) 選定評価委員 委員長 工藤 清泰(市長公室理事)
副委員長 鈴木 裕司(総務部次長)
委員 増田 一(企画財政部次長)
委員 今村 貴宏(健康福祉部次長)
委員 和田 比呂志(浪岡教育事務所長)
委員 森 宏之(青森短期大学教授)
委員 西村 晴夫(東北税理士会青森支部税理士)
 - (2) 施設所管課(事務局)
浪岡教育事務所 教育課 課長 鳴海 雄大
主事 竹ヶ原 亜希
浪岡事務所 都市整備課 主幹 小笠原 聡
主査 後藤 史央
主事 澁谷 惇
 - (3) 制度所管課 市民政策課 参事 相馬 紳一郎
主幹 福島 清裕
主事 田中 浩司
- 5 欠席者 なし
- 6 議題 指定管理者候補者選定に係る審査
- 7 会議概要

最初に委員長より、公正・公平性の確保のために、施設所管課の担当次長は採点の審議には参加せず、事務局として参加していただく旨の意見が出され、委員から異議無く了承された。(和田委員は事務局として参加)

(1) 応募資格

事務局より、応募団体が応募資格の要件を満たしていることを確認し、その内容を報告した。

(質疑なし)

(2) 選定基準による審査

【収支計画】

事務局より、応募団体の収支計画について説明。

(質疑なし)

【管理運営方針】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。
(質疑なし)

【同種の施設管理業務の実績】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。
(質疑なし)

【地域や関係団体との連携】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。

委員：比較表に書かれている内容が抽象的であるが、現在も指定管理者として管理している応募団体の地域や関係団体との連携について、事務局側ではどのような見解をもっているのか。

事務局：事業報告等を基にしながら、現在行っている実施状況等と比較し、同程度以上のものを提案してきていると考えていることを報告した。

委員：施設運営委員会の組織構成メンバーはどのような方々なのか。

事務局：構成するメンバーについて報告した。

【地域貢献への配慮】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。

委員：比較表を見ると、地元雇用について現状のことを書いているが、25年度以降はどうなのか。

事務局：応募団体にヒアリングした結果、地元住民の継続雇用をするという回答を得たことについて報告した。

【職員等の配置計画】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。
(質疑なし)

【職員等の研修計画】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。
(質疑なし)

【施設管理計画】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。
(質疑なし)

【防犯、防災、緊急時の対応に関する取組】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。

委員：自主事業等で得た参加料等の金銭をどのように保管しているのか。

事務局：鍵付の手提げ金庫を管理者が鍵付の机に保管していることを報告した。

委員：通常は職員が何人勤務で、勤務時間等の勤務体制についてどうなっているのか。また、1人勤務時に災害等が発生した場合の対応方法についてどうなっているのか。

事務局：通常は2名体制で、勤務時間は早番・遅番に分かれており、夜は貸館業務があるときは2名で対応していること、1人勤務時の災害等発生時の連絡体制等について報告した。

【個人情報保護の取扱いに関する取組】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。

委員：比較表にあるホームページとは何のホームページのことか。

事務局：指定管理者が独自に制作したホームページであり、市のホームページではないことを報告した。

【安全対策】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。

委員：AEDは設置しているのか。

事務局：浪岡総合公園には野球場へ1台設置、青森市浪岡体育館へは設置されていないが、隣接する浪岡中学校へ設置されていること、AEDの使用方の講習についても参加させていることを報告。

【環境保全、負荷低減の取組】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。

(質疑なし)

【市民の平等な利用を確保するための方針】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。

委員：玄関・ホールの活用についてPRに用いるとのことだったが、どういふことか。

事務局：市民の方々がスポーツイベント情報等の掲示物を気軽に閲覧できる場を提供し、情報を得る機会を増やすことにより平等性を高めているということ報告した。

【利用者等の要望の把握と反映方法】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。

委員：浪岡総合公園の意見箱はどこに設置されているのか。

事務局：野球場の外に設置していることを報告した。

【サービス向上の対策】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。

委員：覆面調査の実施について、経費はどうなっているのか。構成団体の役職者では覆面にならないのではないかと。

事務局：構成団体の役職者等がボランティアで覆面調査を行うので経費はかからないこと、職員に予告なしに来館し調査することを報告した。

【体育・スポーツの普及振興に資する自主事業の実施計画】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。

(質疑なし)

【不法行為等への対策】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。

委員：不法行為として挙げられている例について、実際にこのような不法行為があるのか。また、比較表に書いてあるような対応はとられているのか。

事務局：器物の破損、長時間駐車が主で、しっかりと対応していることを説明。

(3) 審査結果

委員長：採点を集計した結果、110.78点でありました。

最低得点80点を上回っているため、浪岡青い森スポーツ協議会を指定管理者候補者として選定してよろしいか。

委員：(全員、異議なし)

委員長：それでは、浪岡青い森スポーツ協議会を青森市浪岡体育館及び浪岡総合公園の指定管理者候補者として選定する。